

第3回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議・議事概要

日時：令和2年4月13日（月）19時～21時

場所：沖縄県医師会館3階ホール

議題：

- 1 沖縄県における新型コロナウイルス感染症の疫学
- 2 急激な患者増加を受け県が早急に取り組むべきことについて
（相談・外来・検査体制、軽症者の療養体制、入院医療の提供体制、公衆衛生対応）
- 3 学校等の取扱方針について（教育庁）
- 4 イベント等開催の方針について（商工労働部）

議事要旨：

- 1 県の新型コロナウイルス感染症の現状
 - ・1週間で急激に増加。北部・八重山へも拡大。重症例も6例に増加。
 - ・高齢者は重症化しやすく、高齢者に拡げないようなメッセージが必要。
- 2 沖縄県におけるCOVID-19の疫学（国立感染症研究所：神谷先生から）
 - ・クルーズ船事例から、重要なことは接触を断つこと、発症後4日以内に隔離すること。
 - ・他県事例は、ある1点から拡がる傾向がある中で、沖縄はいくつも県外から移入が起こり、複数点から拡がっているため、増加の立ち上がりが早い。
 - ・年齢層は若い層が多く、活動的なため、東京のようにラウンジ、バー、ライブハウス等は注意が必要。
 - ・できる対策はクラスターになりそうな箇所をしっかりとつぶすこと。特に高齢者施設等は注意が必要。
 - ・感染経路不明が30%を超えると危険。沖縄は不明が増加しているものの、まだリンクが追えている状況。
- 3 相談・外来・検査体制
 - ・保健所への相談で、受診基準に満たない場合、かかりつけ医を案内するが、診療を拒まれ返される事例がある。ただし、県内では1日1600件の風邪症状の受信があり拒否は一部のみ。開業医もリスクを抱えており、一般的な発熱外来が必要。
 - ・検査体制は強化されているものの、限りがある中では、これまでどおり4日以上経過観察を共通認識としたい。ただし、基礎疾患がある場合などは早めに受診。
 - ・那覇市立病院ではドライブスルー方式を始め、本日7件実施。（中部病院でも実施中）
 - ・陰性確認の件数が増加。軽症者宿泊施設ができれば検査数も軽減できる。
- 4 軽症者の療養施設
 - ・4/20を目途としているが、可及的速やかに準備していく。
 - ・軽症者のみではなく、濃厚接触した医療従事者の宿泊施設としても使用したい。その場合、濃厚接触者の外出は否定。
- 5 入院医療の提供体制

- ・ ICUが増加しており、人員確保と物品が懸念。
- ・ (災害医療コーディネーターから) 病床調整のため、リアルタイムに状況を把握するため情報共有と連携が重要。
- ・ アビガンを使うなら早めに。国に朝依頼してその日のうちに届くが、離島のことを考えると、県で一括調達して全体で使えるよう調整してほしい。

6 公衆衛生対応

- ・ 疫学調査は広域で実施し、他保健所と広域的に捉えなければいけない。県に情報を上げるようにしているので、全体の情報を現場にも還元してほしい。
- ・ 外出制限について、専門家会議としては、繁華街の接客を伴う飲食店等への自粛を強く促す必要がある。ただし、その場合、補償を考えないと実効性を担保できない。2週間、しっかり自粛して対応すれば治まっていく。

7 学校における休業の考え方

- ・ 専門家としては、学校クラスターは発生していないという認識だが、5/6まで延長という教育庁の判断は尊重したい。
- ・ 県外からの来沖者等の健康観察期間について、一般的な基準としては2週間が妥当。

8 イベント等開催の方針

- ・ 5/6までの延長は是非行ってほしい。

9 その他意見

- ・ 県からの情報発信が弱いと感じる。HP、SNSの充実を。県から思い切って強力なメッセージを発してよい。